



* 弥生3月、明るい春です3月11日は東日本大震災及び福島原発事故の記念日でも有りです。あの巨大な揺れを覚えてますか？あの日から未だ7年しか経っていないのです。11日が近づき、被災地の復興状況の報道を見聞きすると、結ばれた絆を離すことなく、機会を捉えて少しでも応援を続けなければならないと改めて考えさせられます。離れていると日々の身の回りのことに追われ、大震災は遠いことと考えがちですが、毎年この日には今生きていることに感謝し、被災地の頑張りに向かい合います。まだまだ手助けが必要で、続けることが大切です。

* また弥生3月、「冬来たりなば春遠からじ」のこわざを待ち焦がれた「春」がやっと手の届くところに来たようです。この冬は全国津々浦々まで冬将軍が居座っていましたが、これからは桜のニュースに気持ちも軽くなります。コートを脱ぎ捨てて活動が始まる季節です。四季有る日本に感謝しましょう。「春の夜は桜に明けてしまけり」「さまざまの思い出す桜かな」いずれも松尾芭蕉の句です。

* 一方で、東京オリンピックに向けてのテロ対策訓練があったようです。色々な状況設定での訓練がこの先も続くでしょう。テロ防止のためにも街中を隅々にいたるまできれいに清掃し、町中の人々が手をつないでテロを防ぎたいものです。作業場も整理整頓し不要物はリサイクルしましょう。

* 東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を「いつでも」お受け致します。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

☆羅針盤

鉄スクラップ	→	考察)	2月はトータルで1,500円/トン下がり、最終的には、東京製鉄宇都宮工場特級価格36,000円/トン。しかし、月末位から底値感が出始め、トルコやインド他東・東南アジア圏の鉄鋼メーカーが鉄スクラップ輸入に積極的にになり価格も上げていることから3月は月初から上がるでしょう
銅	→	考察)	2月はLME7,250/ドル台、国内銅建値810,000円/トンでスタート、最終的にはLME 7,000ドル/トンを切り国内銅建値800,000円/トン。3月は、棚卸で売りに出る業者も増えると思いますが、円高・ユーロの下落から見ても下がるでしょう
アルミ	→	考察)	2月は2,200ドル/トン台でスタートし、最終的には2,100ドル台/トンに下がりました。3月に関しては、円高・原油高の影響もあり下がると思われます。
プラスチック	→	考察)	廃プラの中国輸出がほぼほぼ止まり、国内のサーマルリサイクルへの移行も本格化。今後は、いままでサーマルリサイクル向けに出されていた廃プラが焼却場へとながれ処分費高騰が続くと思われます。
2月予測の自己評価			
鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	○	プラスチック	○

鉄・非鉄スクラップ・市況からの3月予測

営業部 Y の考察

お知らせ: 今号は連載特集でトピックスはお休みです



リサイクルとSDGs 資源リサイクル会社はグローバル課題の担い手

こんにちは。総務部人事課の山下です。2回目の登場となります。前回予告をさせていただいた中から今回のテーマはSDGs「エスディーズ」です

予告編でお話したようにSDGs「Sustainable Development Goals」は国連が2015年に採択した2030までに達成することを目標とする「持続可能な開発目標」です。17の開発目標、169のターゲット、230の指標で構成されており、17の持続可能な開発目標(SDGs)、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。

これらは「経済」、「社会」、「環境」の3側面を調和させるグローバルな関係で、全世界の国に普遍的に適用可能な目標でもあるのですが、私たち資源リサイクルを手掛ける「環境」に貢献することをビジネスにしている企業では、すべての項目に貢献できる目標です。特に13~15は資源リサイクル会社こそが主たる担い手になって行かなければならないテーマでしょう。

17の持続可能な開発目標

- 1: 貧困をなくそう
- 2: 飢餓をゼロに
- 3: すべての人に保健と福祉を
- 4: 質の高い教育をみんなに
- 5: ジェンダー平等を実現しよう
- 6: 安全な水とトイレを世界中に
- 7: エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8: 働きがいも経済成長も
- 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10: 人や国の不平等をなくそう
- 11: 住み続けられるまちづくりを
- 12: つくる責任つかう責任
- 13: 気候変動に具体的な対策を
- 14: 海の豊かさを守ろう
- 15: 陸の豊かさを守ろう
- 16: 平和と公正をすべての人に
- 17: パートナリシップで目標を達成しよう



おりしも経団連が7年振りに更新した企業の行動憲章(=企業の責任ある行動原則)では、政府が「超スマート社会」として掲げた国家ビジョン「Society5.0」(「人工知能(AI)やロボットなどの革新技術を活用した未来社会」)の実現に向け取り組むことが、この(SDGs)の達成につながると思っています。

昨半夏、東港金属では高校生3名に3日間工場での職場体験をしていただきました。その初めの座学でSDGsを説明し「リサイクル会社がSDGsのどの項目に役に立てるか、職場体験を通して考えましょう」という宿題を出しました。最終日に実施した宿題のディスカッションでは面白い意見がたくさん出ました。社会人の視点では、7~12 特に12のつくる責任、つかう責任に着目すると思いますが、高校生の視点では、発展途上国を主なターゲットにした1~6の回答。特に3のすべての人に健康と福祉をに真っ先に着目したのは驚き、自分が忘れてしまった価値観を再認識しました。

個々人が、今の価値観、将来持つであろう価値観、社会人としての価値観など様々な視点から考えてみるのも企業人として行動を決めるにあたって有効なアプローチになるのではないのでしょうか。ぜひSDGsに着目してみてください。興味を持って調べ始めると非常に多くの情報が提供されており、それぞれの企業の取り組みなどを見ることが出来ます。

人事部 山下 田鶴

ご参照: 下記URLで詳細確認できます。

SDG's:

<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>

Society5.0:

<https://www.government.go.jp/cam/s5/>

経団連の企業行動憲章:

<http://www.keidanren.or.jp/policy/cgcb/chartter2017.html>